

商大は がローカル 大学。

目 次 Contents

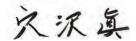
学長あいさつ
沿革
大学憲章 3
University Charter
沿 革 ······ 5
何 早 Historical Sketch
Mistorical Sketch
歴刊仪技・子技 Chronological List of Principals and Presidents
Chronological List of Frincipals and Fresidents
組織
組織機構図
Organization
役職員9
Administrative Officers
経営協議会委員 10
Management Council Members
教育研究評議会評議員 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Education and Academic Research Council Members
名誉教授 ····································
Professors Emeritus
商学部12
Faculty of Commerce
大学院商学研究科14
Graduate School of Commerce
Graduate School of Commerce 附属図書館
University Library
グローカル戦略推進センター16
Center for Glocal Strategy 言語センター 19
Center for Language Studies
情報総合センター
Information and Communications Technology Center
アドミッションセンター
Admission Center
国際連携本部20
Headquarters for International Relations

学生	
商学部	21
大学院商学研究科	23
Graduate School of Commerce 卒業後の状況	24
Employment Situation of Graduates	_ 1
特色ある取り組み	
特色ある取り組み Unique Projects for University Reforms	25
国際交流 協定締結校	26
Associated Schools	
留学実績 The Studying Abroad Results	27
財務	
令和2年度 収入·支出予算	28
Revenue and Expenditure for Fiscal 2020 科学研究費助成事業等	00
件子伽先負助成事未守 Grants-in-Aid for Scientific Research and Other Grants fro	
outside the University	
キャンパス	
土地建物·所在地	30
建物配置図	31
Campus Map 札幌サテライト	33
Sapporo Satellite	
位置図等	34





小樽商科大学学長 穴 沢 President Anazawa Makoto



本学は1911年に我が国第5番目の高等商業学校として設立され,1944年に小樽経済専門学校,1949年に小樽商科大学に名称が変わり,そして2004年に国立大学法人小樽商科大学となり,現在に至ります。100年以上にわたり本学は商学を中心とする社会科学系の高等教育機関として「実学・語学・品格」を教育のモットーとして有為な人材を産業界など各方面に輩出してきました。

国立大学法人としては唯一の社会科学系の単科大学でありますが、教育研究組織として商学部の中に経済学科、商学科、企業法学科、社会情報学科の4学科を有し、大学院商学研究科には現代商学専攻とアントレプレナーシップ専攻(いわゆるビジネススクール)を有しています。また、共同の教育研究組織として言語センター、情報総合センター、保健管理センター、アドミッションセンター、グローカル戦略推進センターがあります。このうち、2015年に設置されたグローカル戦略推進センターには教育支援部門、グローカル教育部門、産学官連携推進部門、研究支援部門があり、相互に協力しながら、本学の教育、研究、社会貢献を一体となって進めています。

本学が立地する北海道は人口減少が著しく、また、地域経済が疲弊しており、これに急激な社会や経済の変化も重なり、課題が山積しています。これらの課題を解決する人材の育成が急務であり、本学が志向する「グローカル人材育成」すなわち、グローバルな視点に立ちつつ、ローカル(地方)の経済発展に貢献できる人材の育成もこれを見据えたものです。そして、人材育成や教育の基礎となるものが実学の精神に基づく高度な専門分野の研究です。これらの教育、研究に大学全体として取り組んでいます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界はいま大きく変わろうとしています。日本の社会、経済も急激な変化にさらされています。このような時代の変化を的確にとらえ、柔軟に自らを変革することが大学にも求められています。これまでも時代の要請に応え、本学は大学の使命である教育、研究、社会貢献の面で絶えず改革を進めてきました。これからも社会科学系に特化した大学として、その特徴をいかしつつ、改革の歩を進めていきたいと思います。



University Charter

国立大学法人小樽商科大学憲章

(平成16年4月1日制定)

国立大学法人小樽商科大学は、建学以来築いてきた自由な学風と実学重視の精神を継承し、さらにこれを発展させて、複雑高度化した現代社会の多元的な問題解決への貢献と人類普遍の真理探求を使命とする教育研究機関として、一層の充実を目指す。

この目標達成に向けて、その依って立つべき理念と方針を明らかにするため、ここに国立大学法人小樽商科大学憲章を制定する。

l 教育

1. (学部教育の目標)

国立大学法人小樽商科大学は、学部において、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、専門的知識のみならず、 広い視野と高い倫理観を身につけた、指導的役割を果た すことのできる人材の育成を図る。

2. (大学院教育の目標)

国立大学法人小樽商科大学は、大学院において、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、研究者としての基礎的教育を行うのみならず、現代社会の諸分野において貢献し得る高度な専門的知識を有する職業人の育成を図る。

Ⅱ 研究

3. (学術・研究の目標)

国立大学法人小樽商科大学は、憲法で保障された学問の自由の理念に則り、21世紀社会の多元的な問題解決に寄与し、人類普遍の真理の探求と知の創造に努める。

4. (基礎研究と応用・実学研究)

国立大学法人小樽商科大学は、基礎研究とそれを踏まえた応用的・実学的研究をともに重視し、両者の成果を 人類の幸福や経済社会の発展のために還元する。

5. (総合的·学際的研究)

国立大学法人小樽商科大学は,1学部に広範な専門分野を包摂する単科大学としての特性を活かし,総合的・学際的研究の推進を図る。



Ⅲ 社会貢献

6. (研究成果の地域社会への還元)

国立大学法人小樽商科大学は、社会が提起する課題に 対して、具体的かつ実践的な処方箋を提供するという方 針のもとに、研究成果を地域社会の活性化のために還元 する。

IV 国際交流

7. (国際交流事業の推進)

国立大学法人小樽商科大学は,国際的視野を備えた人材の育成という観点から,国際交流事業の推進を図り, その充実に努める。

V 運営

8. (運営の基本原則)

国立大学法人小樽商科大学は、学問の自由や大学の自治の理念を踏まえ、大学の特性を最大限に発揮するとともに、その活性化が充分図られるよう、自主的・自立的な運営の確保に努める。

9. (運営の基本組織)

国立大学法人小樽商科大学は、それぞれ全学的視野に立った大学運営において、自主的・自律的意思決定を委ねられた学長並びに審議機関である役員会、経営協議会、教育研究評議会、学部教授会、専攻教授会及び学部・大学院合同教授会をその基本組織とする。

10. (財務)

国立大学法人小樽商科大学は、その運営を可能とする 経費が相当部分国民から付託されたものであることを自 覚し、これを適正に管理し、かつ、有効に活用する。 11.(基本的人権の尊重)

国立大学法人小樽商科大学は、基本的人権を尊重し、 国籍、信条、性別、門地等の理由による不当な差別を排除するとともに、すべての構成員がその個性と能力を充分発揮できるよう、教育・研究・労働環境の整備を図る。 12.(情報の開示)

■国立大学法人小樽商科大学は、個人情報の保護に努める一方、社会に対し開かれた大学を目指し、教育・研究・ 運営上の情報を可能な限り開示する。



沿革 Historical Sketch

小樽商科大学は、昭和24年5月国立学校設置法(法律第150号)により、新制大学として発足し、平成16年4月国立大学法人小樽商科大学に移行し、今日に至っている。その起源は、遠く明治44年5月全国の官立高等商業学校のうち第5番目として開校された小樽高等商業学校の設立にはじまる。

以来,今日に至るまでに,本学の歴史は実に109年の 永きにわたっており,産業の興隆並びに学術・文化の発展 に貢献してきた。 The Otaru University of Commerce was reorganized as a university in May 1949 by the national government and shifted in National University Corporation Otaru University of Commerce in April 2004. It was originally established as the Otaru Higher Commercial School in March 1910 and has reached the present stage after many changes.

The University traces a long history for more than 109 years since its foundation, during which it has contributed not only to the industrial circles but also to the advancement of the arts and sciences through its excellent teaching and research in these fields.

明43.3 設置 Established Mar.1910 明44.5 開校 Opened May 1911 小樽高等商業学校 Otaru Higher Commercial School

> 大15.4 併設 Annexed Apr.1926 昭 5.3 廃止 Abolished Mar.1930 第14臨時教員養成所 14th Temporary Teachers' Training Program

Apr.1944 昭19.4(改称) (Renamed) 昭24.5 May 1949 小樽経済専門学校 小樽 商 科 大 学 Otaru College of Economics Otaru University of Commerce 平16.4 (設立) Established Apr. 2004 国立大学法人小樽商科大学 National University Corporation Otaru University of Commerce

平16.4 Apr. 2004 小 樽 商 科 大 学 Otaru University of Commerce



昭24.5設置 Established May 1949 昭24.5設置 Established May 1949 平3.10改組 Reorganized Oct.1991 商学部 経済学科・ 経済学科(昼間コース・夜間主コース) Faculty of Department of Economics Department of Economics (Day School. Night School) Commerce 昭23 英語 臨時教員養成所 昭24 Temporary English Teachers' Training 1948 - 1949 平3.10改組 Reorganized Oct.1991 昭53.4設置 Established Apr.1978 科(昼間コース・夜間主コース) 商業学科商学コース Department of Commerce 昭24.5設置 Department of Commerce (Day School. Night School) Established with Course in Commerce May 1949 商業学科 Department 昭53.4設置 Established 平3.10改組 Reorganized Oct.1991 of Commerce Apr.1978 企業法学科(昼間コース・夜間主コース) 商業学科経営法学コース Department of Law Department of Commerce (Day School. Night School) with Course in Law 平3.10改組 Reorganized Oct.1991 昭40.4設置 Established Apr.1965 管理科学科 社会情報学科(昼間コース・夜間主コース) Department of Information and Management Science Department of Management Science (Day School. Night School) 昭28.4設置 Established Apr.1953 平16.3廃止 Abolished Mar.2004 商業教員養成課程 Teachers' Training Program in 昭46.4設置 Established Apr.1971 Commerce 平成21.3廃止 昭46.4設置 Abolished Mar.2009 Established 経営管理専攻 Apr.1971 昭46.4設置 Established Apr.1971 Major in Business Administration 大 学 院 商学研究科 Graduate Graduate School of Commerce School 平16.4設置 Established Apr.2004 現代商学専攻(修士課程) Major in Modern Commerce 平3.10設置 Established Oct.1991 (Master's Degree Program) 言語センター Center for Language Studies 平16.4設置 Established Apr.2004 アントレプレナーシップ専攻 (専門職学位課程) Major in Entrepreneurship 平12.4設置 Established Apr.2000 (Professional Degree Program) 平28.3廃止 Abolished Mar.2016 ビジネス創造センター Center for Business Creation 平19.4設置 Established Apr.2007 平27.4設置 Established Apr.2015 現代商学専攻 (博士 (前期·後期) 課程) グローカル戦略推進センター Major in Modern Commerce Center for Glocal Strategy Doctor's Degree (First-term and Second-term) Program 昭29.4設置 Established Apr.1954 昭46.3廃止 Abolished Mar.1971 専攻科-経理経営学専攻 Post - Graduate Post - Graduate Program Program

in Accounting and Management



歴代校長·学長

Chronological List of Principals and Presidents

名	枛
Official	Names

小樽高等商業学校 Otaru Higher Commercial School

小樽経済専門学校 Otaru College of Economics (From April 1, 1944 on)

小樽商科大学 Otaru University of Commerce (From May 31, 1949 on)



国立大学法人小樽商科大学 National University Corporation Otaru University of Commerce (From April 1, 2004 on)

氏名 在職期間

Name Period of Service

渡 辺 龍 聖 明治44. 1.26~大正10.11. 28 10年11月 Watanabe Ryusei Jan. 26, 1911 ~ Nov. 28, 1921

伴房次郎大正10.11.28~昭和10. 4. 2 13年 6月Ban FusajiroNov. 28, 1921 ~ Apr. 2, 1935

 苫米地 英 俊
 昭和10. 4. 2~昭和19. 3. 31
 9年

 Tomabechi Hidetoshi
 Apr. 2, 1935 ~ Mar. 31, 1944

 苫米地 英 俊
 昭和19. 4. 1~昭和21. 3. 13
 2年

 Tomabechi Hidetoshi
 Apr. 1, 1944 ~ Mar. 13, 1946

校長事務取扱
Acting Principal
浜 林 生之助 昭和21. 3.13~昭和21. 5. 31 3月
Hamabayashi Ikunosuke Mar. 13, 1946 ~ May 31, 1946

大 野 純 一 昭和21. 5.31~昭和26. 3. 31 4年11月 Ono Junichi May 31, 1946~ Mar. 31, 1951

大 野 純 一 昭和24. 5.31~昭和32. 7. 28 8年 3月 Ono Junichi May 31, 1949 ~ Jul. 28, 1957

学長事務取扱
Acting President
木 部 林 二 昭和32. 7.29~昭和32.11. 7 5月
Kibe Rinji Jul. 29, 1957 ~ Nov. 7, 1957

加 茂 儀 一 昭和32.11. 8~昭和40.11. 7 8年 1月 Kamo Giichi Nov. 8, 1957 ~ Nov. 7, 1965

学長事務取扱
Acting President
松尾正路 昭和40.11.8~昭和41.3.1 5月
Matsuo Masamichi Nov. 8, 1965 ~ Mar. 1, 1966

實 方 正 雄 昭和41. 3. 1~昭和51. 2. 29 10年 Sanekata Masao Mar. 1, 1966 ~ Feb. 29, 1976

伊藤 森右衛門 昭和51. 3. 1~昭和55. 2. 29 4年 Ito Moriuemon Mar. 1, 1976 ~ Feb. 29, 1980

長谷部 亮 一 昭和55. 3. 1~昭和59. 2. 29 4年 Hasebe Ryoichi Mar. 1, 1980 ~ Feb. 29, 1984

Acting President 松 本 忠 司 昭和59. 3. 1~昭和59. 3. 31 1月 Matsumoto Chuji Mar. 1, 1984 ~ Mar. 31, 1984

藤 井 榮 一 昭和59. 4. 1~平成 4. 3. 31 8年 Fujii Eiichi Apr. 1, 1984 ~ Mar. 31, 1992

山 田 家 正 平成 4. 4. 1~平成14. 3. 31 10年 Yamada Iemasa Apr. 1, 1992 ~ Mar. 31, 2002

秋 山 義 昭 平成14. 4. 1~平成16. 3. 31 2年 Akiyama Yoshiaki Apr. 1, 2002 ~ Mar. 31, 2004

秋 山 義 昭 平成16. 4. 1~平成20. 3. 31 4年 Akiyama Yoshiaki Apr. 1, 2004 ~ Mar. 31, 2008

山 本 真樹夫 平成20. 4. 1~平成26. 3. 31 6年 Vamamata Makia Apr. 1. 2008 ~ Mar. 31, 2014

Yamamoto Makio Apr. 1, 2008 ~ Mar. 31, 2014 和 田 健 夫 平成26. 4. 1~令和 2. 3. 31 6年

Apr. 1, 2014 ~ Mar. 31, 2020

穴 沢 眞 令和 2. 4. 1~ Anazawa Makoto Apr. 1, 2020~

学長事務取扱

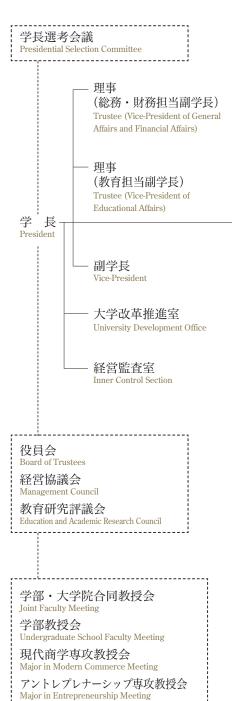
Wada Tateo

07

組



組織機構図 Organization



経 済 学 科 Department of Economics 商 Department of Commerce 部 企業法学科 Faculty of Commerce Department of Law 社会情報学科 Department of Information and Management Science 院 (一般教育等) Graduate School (General Education) 現代商学専攻 Major in Modern Commerce 商学研究科 Graduate School of Commerce アントレプレナーシップ専攻 Major in Entrepreneurship 附属図書館 University Library 言語センター Center for Language Studies 保健管理センター Health Services Center 情報総合センター 務 Information and Communications Educational Affairs Section Technology Center アドミッションセンター 試 Admissions Office グローカル戦略推進センター 学生支援課 Center for Glocal Strategy Student Affairs Section - キャリア支援室 教育支援部門 Career Support Office 国際交流室

グローカル教育部門 Glocal Education Division

産学官連携推進部門 Industry, Academia and Government Cooperation Development Division

研究支援部門

Research Support Division

教学IR室 Institutional Research Office of Education

国際連携本部 Headquarters for International Relations

務 局 Administration Bureau

International Office

学術情報課 Library & Academic Information Section

General Affairs Section

企画戦略課 Planning and Strategy Section

> - 経営改革推進室 Management Reform Promotion Office

会 計 Accounting Section

設 Facilities and Maintenance Section





役職員 Administrative Officers

学 長 President

理事(総務・財務担当副学長)

Trustee

(Vice-President of General Affairs and Financial Affairs)

理事(教育担当副学長)

Trustee

(Vice-President of Educational Affairs)

理事(非常勤)

Trustee

(Part-time)

監事(業務監査・非常勤)

Auditor

(in Charge of Business Management, Part-time)

監事(会計監査・非常勤)

Auditor

(in Charge of Accounting Affairs, Part-time)

小 嶋

Kojima Minoru

髙 玉 博 史

Takatama Hiroshi

竹 下 欣 吾

安部田 康 弘

Abeta Yasuhiro

Handa Hisashi

中村義伸

折 田 朋 子

Kurashige Osamu

Orita Tomoko

藏重

氏 次 Ujitsugu Takeshi

氏 次

Nakamura Yoshinobu

治

健

半 田

Takeshita Kingo

稔

副学長

Vice-President

務 局

Administration Bureau

事務局長 Director, Administration

Bureau 教務課長

Section Chief, Educational Affairs Section

入試室長 Office Chief, Admissions Office

学生支援課長 Section Chief, Student Affairs Section

キャリア支援室長 Office Chief, Career Support Office

国際交流室長 Office Chief, International Office

学術情報課長 Section Chief, Library & Academic Information Section

総務課長 Section Chief, General Affairs Section

企画戦略課長 Section Chief, Planning and Strategy Section

経営改革推進室長(兼) Office Chief, Management Reform Promotion Office

会計課長 Section Chief, Accounting Section

施設課長 Section Chief, Facilities and Maintenance Section

穴 沢 뒬 Anazawa Makoto

江 頭 進 Egashira Susumu

鈴木将史 Suzuki Masafumi

福 井 郁 Fukui Ikuko

石 橋 憲 Ishibashi Kenichi

小 嶋 京 子 Kojima Kyoko

近藤公彦 Kondo Kimihiko



附属図書館 University Library

附属図書館長(兼) Library Director

江 頭 進 Egashira Susumu

言語センター Center for Language Studies

言語センター長(兼) Director of Center for Language

副 島 美由紀 Soejima Miyuki

保健管理センター Health Services Center

保健管理センター所長(兼) Director of Health Services

Center

髙 橋 恭 子 Takahashi Kyoko

情報総合センター Information and Communications Technology Center

情報総合センター長(兼) Director of Information and Communications Technology Center 平 沢 尚 毅 Hirasawa Naotake

アドミッションセンター Admission Center

アドミッションセンター長(兼) Director of Admission Center

鈴 木 将 史 Suzuki Masafumi

Lee Jemin

Kobayashi Tomohiko

グローカル戦略推進センター Center for Glocal Strategy

グローカル戦略推進センター長(兼) 穴 沢 眞 Director of Center for Glocal Strategy Anazawa Makoto 佐 野 博 之 教育支援部門長(兼) Director of Educational Support Sano Hiroyuki Division

グローカル教育部門長(兼) プラート カロラス **Praet Carolus** Director of Glocal Education Division 産学官連携推進部門長(兼) 濟 民

Director of Industry, Academia and Government Cooperation Development Division

江 頭 研究支援部門長(兼) 進 Egashira Susumu Director of Research Support Division 近藤公彦 教学IR室長(兼) Kondo Kimihiko Office Chief, Institutional Research

Office of Education

国際連携本部 Headquarters for International Relations 国際連携本部長(兼) 小 林 友 彦

Director of Headquarters for International Relations

大 江 健一郎

Ooe Kenichiro

Ujitsugu Takeshi

小守林 訓 Komoribayashi Satoshi

織



経営協議会委員 Management Council Members

学 長 President

理事 (総務・財務担当副学長) Trustee (Vice-President of General Affairs and Financial Affairs)

理事(教育担当副学長) Trustee (Vice-President of Educational Affairs)

副学長 Vice-President

商学部教授 Professor, Faculty of Commerce 穴 沢 追 Anazawa Makoto

江 頭 進 Egashira Susumu

鈴木将史 Suzuki Masafumi

近藤 公彦 Kondo Kimihiko

片 桐 由 Katagiri Yuki

前小樽市副市長

Previous Deputy Mayor of Otaru

東京女子大学現代教養学部 国際社会学科教授

Professor of Tokyo Woman's Christian University

前室蘭工業大学長

Previous President of Muroran Institute of Technology

杉商株式会社 代表取締役社長 President of Sugisho Co., Ltd

公益社団法人 緑丘会副理事長 Vice-Chairman of Ryokkyukai

株式会社財界さっぽろ 代表取締役社長

President and CEO, ZAIKAISAPPORO Inc.

上林 猛 Kanbayashi Takeshi

栗田啓 Kurita Keiko

佐藤一 Sato Kazuhiko

杉 江 俊太郎 Sugie Shuntaro

福 田 恭 一 Fukuda Kyoichi

舟 本 秀 男 Funamoto Hideo



教育研究評議会評議員 Education and Academic Research Council Members

学 長 President

(総務・財務担当副学長)

Trustee (Vice-President of General Affairs and Financial Affairs)

理事(教育担当副学長) Trustee (Vice-President of Educational Affairs)

副学長 Vice-President

言語センター長 Director of Center for Language Studies

保健管理センター所長 Director of Health Services Center

情報総合センター長 Director of Information and Communications Technology Center

グローカル戦略推進センター教育支援部門長 Center for Glocal Strategy Director of Educational Support Division

グローカル戦略推進センターグローカル教育部門長 Center for Glocal Strategy Director of Glocal Education Division

グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門長 Center for Glocal Strategy Director of Industry, Academia and Government Cooperation Development Division

国際連携本部長 Director of Headquarters for Internatinal Relations, Chairperson

経済学科長 Chairperson, Department of Economics Mizushima Atsue

穴 沢 眞 Anazawa Makoto

頭 進 Egashira Susumu

鈴木将史 Suzuki Masafumi

近藤公彦 Kondo Kimihiko

島 美由紀 Soejima Miyuki

髙 橋 恭 子 Takahashi Kyoko

平 沢 尚 毅 Hirasawa Naotake

佐 野 博 Sano Hiroyuki

プラート カロラス Praet Carolus

李 濟 民 Lee Jemin

小 林 友 彦 Kobayashi Tomohiko

島淳恵

商学科長

Chairperson, Department of Commerce

企業法学科長

Chairperson, Department of Law

社会情報学科長 Chairperson, Department of Information and Management

Science 一般教育系学科主任 Chairperson, General Education

現代商学専攻長

Chairperson, Major in Modern Commerce

アントレプレナーシップ専攻長 Chairperson, Major in Entrepreneurship

大学院商学研究科教授 Professor, Graduate School of Commerce

商学部教授 Professor, Faculty of Commerce

商学部教授 Professor, Faculty of Commerce

商学部教授

Professor, Faculty of Commerce 商学部教授

Professor, Faculty of Commerce 商学部教授

Professor, Faculty of Commerce

言語センター教授 Professor, Center for Language Studies

坂 柳 明 Sakayanagi Akira

國 武 英 生 Kunitake Hideo

沼澤政信 Numazawa Masanobu

部善平 Okabe Yoshihei

鎔 Kim Yongki

齋 藤 一 朗 Saito Ichiro

小 林 敏 彦 Kobayashi Toshihiko

島大輔 Nakajima Daisuke

伊 藤 Itoh Hajime

森 計 Kawamori Keiji

加 地 太 Kaji Taichi

中 川 喜 直 Nakagawa Yoshinao

ホルスト マーク Holst Mark



名誉教授 Professors Emeritus

昭59. 3.15 長谷部 克 一烷類 Mar. 15, 1984 Hasebe Ryoichi (Former President)

平 7. 4. 5 片 桐 誠 士 Apr. 5, 1995 Katagiri Seiji

平 7. 4. 5 村 山 出 Apr. 5, 1995 Murayama Izuru

平 8. 4. 3 沼 田 久 Apr. 3, 1996 Numata Hisashi

平 9. 4. 2 永 原 和 夫 Apr. 2, 1997 Nagahara Kazuo

平11. 4. 2 篠 崎 恒 夫 Apr. 2, 1999 Shinozaki Tsuneo

平11. 4. 2 豊 国 孝 Apr. 2, 1999 Toyokuni Takashi

平13. 4. 4 神 田 孝 夫 Apr. 4, 2001 Kanda Takao

平14. 4. 5 山 田 家 正烷製 Apr. 5, 2002 Yamada Iemasa (Former President)

平14. 4. 5 青 竹 正 一 Apr. 5, 2002 Aotake Shoichi

平15. 4. 4 田 中 良 三 Apr. 4, 2003 Tanaka Ryozo

平18. 4. 4 中 善 宏 Apr. 4, 2006 Naka Yoshihiro

平19. 4.11 倉 田 稔 Apr.11, 2007 Kurata Minoru

平21. 4. 8 遠 藤 Apr. 8, 2009 Endo Kaoru

平21. 4. 8 大 塚 譲 Apr. 8, 2009 Otsuka Yuzuru

平22. 4. 7 田 野 有 — Apr. 7, 2010 Tano Yuichi

平22. 4. 7 渡 邊 和 夫 Apr. 7, 2010 Watanabe Kazuo 平24. 4. 18 片 岡 正 光 Apr. 18, 2012 Kataoka Masamitsu

平24. 4. 18 加 藤 睦 洋 Apr. 18, 2012 Kato Mutsuhiro

平25. 4. 3 鵜 沢 秀 Apr. 3, 2013 Uzawa Masaru

平25. 4. 3 兼 岩 龍 二 Apr. 3, 2013 Kaneiwa Ryuji

平25. 4. 3 杉 村 泰 教 Apr. 3, 2013 Sugimura Yasunori

平25. 4. 3 高 井 收 Apr. 3, 2013 Takai Osamu

平25. 4. 3 花 田 功 — Apr. 3, 2013 Hanada Koichi

平25. 4. 3 結 城 洋一郎 Apr. 3, 2013 Yuki Yoichiro

平26. 4. 16 今 西 — Apr. 16, 2014 Imanishi Hajime

平26.4.16 山 本 真樹夫 原製 Apr. 16, 2014 Yamamoto Makio (Former President)

平27. 4. 15 小 田 福 男 Apr. 15, 2015 Oda Fukuo

平27. 4. 15 髙 橋 純 Apr. 15, 2015 Takahashi Atsushi

平28. 4. 13 江 口 修 Apr. 13, 2016 Eguchi Osamu

平28.4.13 大 矢 繁 夫 Apr. 13, 2016 Oya Shigeo

平28.4.13 中 村 隆 志 Apr. 13, 2016 Nakamura Takashi

平29.4.12 大島 稔 Apr. 12, 2017 Osima Minoru

平29.4.12 小笠原 春 彦 Apr. 12, 2017 Ogasawara Haruhiko 平29.4.12 裴 Apr. 12, 2017 Pei Zheng

平30.4.11 上 野 耕三郎 Apr. 11, 2018 Ueno Kozaburo

平30.4.11 荻 野 富士夫 Apr. 11, 2018 Ogino Fujio

平30.4.11 奥 田 和 重 Apr. 11, 2018 Okuda Kazushige

平30.4.11 行 方 常 幸 Apr. 11, 2018 Namekata Tsuneyuki

平30.4.11 西山 茂 Apr. 11, 2018 Nishiyama Shigeru

平30.4.11 八 木 宏 樹 Apr. 11, 2018 Yagi Hiroki

平31. 4. 10 澁 谷 浩 Apr. 10, 2019 Shibuya Hiroshi

平31.4.10 山 本 久 雄 Apr. 10, 2019 Yamamoto Hisao

令元.7.10 船 津 秀 樹 Jul. 10, 2019 Funatsu Hideki

令 2. 4. 8 久保田 顕 二 Apr. 8, 2020 Kubota Kenji

令 2. 4. 8 髙 野 寿 子 Apr. 8, 2020 Takano Hisako

令 2. 4. 8 髙宮城 朝 則 Apr. 8, 2020 Takamiyagi Tomonori

令 2. 4. 8 花 輪 啓 一 Apr. 8, 2020 Hanawa Keiichi

令 2. 4. 8 山 本 賢 司 Apr. 8, 2020 Yamamoto Kenji

令 2. 4. 8 和 田 健 夫 (環 Apr. 8, 2020 Wada Tateo (Former President)

令 2. 4. 8 和 田 良 介 Apr. 8, 2020 Wada Ryosuke

〈役員数〉Number of Staff

(令和2年5月1日現在) (As of May 1, 2020)

学 長 President			監事(非常勤) Auditor (Part-Time)	合 計 Total
1	2	1	2	6

〈職員数〉Number of Faculty

(令和2年5月1日現在) (As of May 1, 2020)

							-
区分 Classification	教 授 Professors	准教授 Associate Professors	講 師 Lecturers	助 教 Assistant Professors	助 手 Assistants	その他の職員 Other Staffs	合 計 Total
事務局 Administration Bureau						72 (1)	72 (1)
商学部 Faculty of Commerce	39	35		2	1		77
商学研究科 Graduate School of Commerce	13 (1)	1					14 (1)
言語センター Center for Language Studies	8 (1)	7				1	16 (1)
保健管理センター Health Services Center	2					1	3
グローカル戦略推進センター Center for Glocal Strategy	2	4	1		1		8
合計 Total	64 (2)	47	1	2	2	74 (1)	190 (3)



商学部 Faculty of Commerce

小樽商科大学は, 商学を専門とするユニークな大学です。大学には, 商学部1学部だけがあり, 商学部には4つの学科を有しています。

Otaru University of Commerce is a unique university which specializes in commerce. There is only one faculty, the faculty of commerce , and it has four departments.

経済学科

経済学科では、人々の行動原理とその相互作用を探る 経済理論、理論から導かれる仮説を観測データや実験 データを用いて検証するための統計学的分析手法、そし て、理論と統計手法を駆使し過去・現在の経済事象の メカニズムを探る応用経済学を学びます。

経済学の学習および3年次から始まる少人数制のゼミナールでの研究を通じて、論理的思考を養い、国際的視野と実践的能力を身に付けることができるようになります。

経済学科の卒業生は、商社・金融・通信・官公庁などの 多様な業種で活躍しています。

	_
講座	Lectures
m+/	Lectures

基礎経済学 Basic Economics

応用経済学 Applied Economics

Department of Economics

Economics is a study of human behaviors and their interactions in a society. In the Department of Economics, students learn economic theories (e.g., microeconomics, macroeconomics, game theory), statistical methods (e.g., statistics, econometrics), and their applications (e.g., international economics, labor economics, finance, industrial organization, public economics).

In the learning process in a series of lectures and seminars in the department, you will obtain skills of logical thinking, views with global scopes, and useful and practical knowledge of economics for your future lives and businesses. Our graduates are very active in various sectors such as trade, finance, telecommunication, and government and municipal offices.

商学科

会社は、社会で事業活動を行い、会社の経営者は、負債 及び資本の形で資金を調達した上で、多くの法又は規則の もとで、自らが策定した事業戦略に基づいて、会社の顧客 に商品を販売し、あるいはサービスを提供します。小樽 商科大学では、そのような会社との関係で、マーケティン グ、経営、会計の理論、及び会社の周辺の様々な事業環境 を学ぶことができます。我々の大学が提供するビジネス 関係の課程を修了した後には、社会で生活するに当たっ て、及びビジネスの世界を生き抜くに当たって必要になる、 論理的思考能力が身に付いています。

講座 Lectures

商学 Science of Commerce

経営学 Business Administration

会計学 Accounting

Department of Commerce

A company runs business activities in society and the management of the company, which raises money by debt and equity financing, sells goods or services to customers of the company, based on business strategies designed by the management under many laws or rules. In relation to the company mentioned above, you can learn theory of marketing, business administration, accounting and various business environments around the company at Otaru University of Commerce. After completing business-related courses that our university provides you, you acquire the ability of logical thinking necessary for you to live in society and survive in business world.





企業法学科

世界に通用する「法律に強い産業人」の育成をめざし、 企業活動に関係する法律を中心とした独自のカリキュラム に基づいて、実学指向の法学教育を行っています。

特徴は、法学部にひけをとらない充実した教授陣の下で、憲法、民法、刑法、商法などの伝統的かつ基本的な分野はもちろん、知的財産法、国際経済法、国際取引法といった先端的・応用的分野も学ぶことができることです。また、3年次から始まる少人数制のゼミナールでは、現代社会に生じる多様な法律問題の解決法を自ら考えることで、正義・衡平の感覚と論理的思考力を身につけることができます。

卒業生は、多様な業種の民間企業はもちろん官公庁に入る人も多く、弁護士その他の法律事務家を含め、広く様々な分野で活躍しています。

講座 Lectures

基礎法 Basic Law

企業法 Business Law

社会情報学科

ICT (Information and Communications Technology: 情報通信技術) による社会環境の急速な進展をフォローアップし, 合理的に対処していくための幅広い見識と技能を身につけるための学科です。

ICT化のための要素技術はもとより、社会の各種組織体における情報活動と情報システムのあり方、プロジェクトの推進や意思決定を支援する様々な問題解決の方法論とその応用等に関する研究・教育を行っています。

技術面では理系的要素が強く、その応用面では文系的要素が強い本学科では、理系・文系それぞれのセンスを生かした学習が可能です。情報センスに富み、組織や社会の仕組みに精通した人材となるために、基礎から応用までを徹底して学び、高度ICT時代の社会における経営管理者を育てています。

講座 Lectures

計画科学 Management Science

組織と情報 Organization and Information

社会と情報 Information Science

Department of Law

The objective of the department is to produce business experts in law. It has its own curriculum focused on laws which are related to business activities and the education emphasizes the applicability of the knowledge of law. The faculty is fully fledged. Students can learn, not only the basic and traditional fields such as the constitution, the civil law, criminal law and commercial law, but also the new and applied fields such as intellectual property law, international economic law and international business transactions. In the seminars that begin from the third year, students are expected to acquire an attitude of logical thinking and a sense of justice and equity by examining the way to solve various legal problems that arise in modern society.

Graduates obtain jobs in various fields including the legal profession. There are also many graduates who become public servants or business workers in private companies.

Department of Information and Management Science

The department gives students the broad knowledge and skills to ready for the rapid change of social environment caused by the development of ICT (Information and Communications Technology). Its education and research covers many fields relating to ICT in various organizations, which include the individual technological elements of ICT, the informational activities and systems, and the method and application to support projects and decision making. The department offers a remarkable combination of engineering and human arts; especially the former deals with the technological aspects of the fields and the latter with their application. The department nurtures business managers in the advanced ICT era by extensively training them to understand the structure of organizations through informational aspect.





大学院商学研究科 Graduate School of Commerce

博士課程

現代商学専攻

Major in Modern Commerce

【博士前期課程】

本課程は、大学教育の上に立って、経営管理の分野において広い視野と深遠な学術研究に基づいた教育を目的とし、研究者養成の基礎としての役割に加え、国際的視野を持った高度職業人を育成します。

Doctor's Degree First-term Program

The Major in Modern Commerce, Doctor's Degree First-term Program aims at education based upon undergraduate studies and a wide range of profound academic research, and also at producing researchers and high-skilled businessmen with a cosmopolitan outlook.

【博士後期課程】

博士後期課程は、特定のテーマについて研究を深め、研究成果を博士論文に結実させて、商学分野の教育研究者または高度職業人として国際社会および地域に貢献する人材を育成します。

Doctor's Degree Second-term Program

The Major in Commerce, Doctor's Degree Secondterm Program aims at producing researchers in the academic field of Commerce and highly-skilled businessmen who, having carried out an in-depth study of specific themes and completed a doctoral dissertation, can contribute to various spheres of both the regional and international communities.

授業科目区分 Subject Classification

アカデミック・トレーニング科目 Academic Training Subjects

基本科目 Basic Subjects

コース共通科目 Interdepartmental Course Subjects

発展科目 Elective Subjects

研究指導 Seminars

教育研究分野 Subject Classification

現代商学教育研究分野

Research and Education in the field of Modern Commerce

組織マネジメント教育研究分野

Research and Education in the field of Organization Management

企業情報戦略教育研究分野

Research and Education in the field of Corporate Information Strategy

現代ビジネスの理論と制度教育研究分野

Research and Education in the field of Modern Business Theories and Systems

演習 Seminars



専門職学位課程

アントレプレナーシップ専攻 (ビジネススクール)

Major in Entrepreneurship

アントレプレナーシップとは、企業家精神を意味しています。本専攻では、企業内において新規事業開発を担う人材、ベンチャーを起業し、成長発展戦略を立案・実行できる人材、企業や自治体において組織改革を実施できる人材を養成します。

The Entrepreneurship Program offers opportunities to nurture future business leaders who will initiate new projects at companies, start new businesses, strategize and carry out business plans, and challenge the stagnant organizational structure in many companies and municipalities.

授業科目区分 Subject Classification 基本科目 Basic Subjects

基礎科目 Core Subjects

発展科目 Elective Subjects

実践科目 Practice Subjects

ビジネスワークショップ Business Workshop





附属図書館 University Library

従来の図書館の持つ「個人が腰を落ち着けて静かに文献や資料と対峙する場所」というイメージと異なり、メインフロアである2階は、学生の能動的な学びを意味する「アクティブラーニング」エリアとして、グループ学習室やオープン学習スペースなどを備え、学生同士が話をしながら相互に学びあうラーニング・コモンズの場としても活用されています。

また,多彩なテーマで講演会やセミナー,研究発表なども行われる場として活用されるとともに,話題の書籍を,実物とデジタルサイネージで紹介するなど,様々な方法で利用者の知的好奇心を刺激します。

対して、3階は従来の図書館のイメージ通り、個人で集中して学習するスペースとして、学習に必要な図書・学術雑誌が手に取りやすいように近くにあり、閲覧席は他人の存在を気にせず集中できる個席仕様となっています。

そして、学習に必要な図書、雑誌、電子ジャーナル及びデータベースなど最新の資料を学生や教員の要望に応じて収集・提供するとともに、創設以来100年を超える歴史のなかで収集した充実した蔵書を備えており、特に社会科学系では、貴重な文献を多く含む全国でも屈指のコレクションを誇っています。

In a departure from the concept of conventional libraries where people sit and read quietly, the remodeled library's main floor(2F) features a group learning room and an open space as part of an active education area for students. The floor is also used as a learning commons area where students can work together.

The main floor is designed for activities to stimulate intellectual curiosity in various ways. In this regard, it is used as a venue for lectures, seminars, research presentations and other events with diverse themes, and showcases topical literature with a mixture of actual publications and digital signage.

The third floor is more in keeping with the conventional image of university libraries. Books and scholarly journals necessary for study are made readily available to support intensive learning by individual students. The seating is designed so that users can concentrate on their own work without distraction.

The latest materials are collected and provided at the library to fulfill the needs of students and faculty members. These include books necessary for study, periodicals, electronic journals and databases. The facility's extensive collection, which has been built over the university's history of more than 100 years, is one of the nation's largest, and includes a variety of important documents in the field of social science and other areas.



蔵書 Collection of Books

(令和2年3月31日現在) (As of Mar. 31, 2020)

区 分	所蔵図書冊数	所蔵雑誌種類数	令和元年度受入 Accessions [2019]			
Classification	Collection of Books	Periodicals	図書 Books	雑誌 Periodicals		
和 書	308,104冊	8,820種	4,082∰	1,533種		
Japanese & Chinese	Vols.	Titles	Vols.	Titles		
洋 書	171,409冊	3,326種	1,281∰	217種		
Foreign	Vols.	Titles	Vols.	Titles		
合 計	479,513冊	12,146種	5,363∰	1,750種		
Total	Vols.	Titles	Vols.	Titles		

サービス Services

			館外貸出 The number of books loaned								
年 度 Year	開館日数 Days open	入館者数 Total visitors	教取 Sta		学 Stud	生 ents	学夕 Oth		合 To	計 tal	
icui	Days open		人数 Staffs	冊数 Vols.	人数 Students	冊数 Vols.	人数 Others	冊数 Vols.	人数 Total	冊数 Vols.	
平成29年度 (2017)	352日	247,597	1,448	3,884	5,100	10,315	399	867	6,947	15,066	
平成30年度 (2018)	297日	223,882	1,385	4,647	4,517	9,792	230	524	6,132	14,963	
令和元年度(2019)	※257日	85,225	1,099	2,801	2,027	4,582	115	274	3,241	7,657	

※令和元年度は改修工事により長期休館。開館日のうち141日は部分開館。

*In 2019, the library was closed due to renovation so it was only in partial operation during the 141 days before the official reopening day.



グローカル戦略推進センター Center for Glocal Strategy

グローカル戦略推進センター (CGS) は、本学のミッションを実現するため、平成27年4月に設置し、平成28年4月から本格的に稼働しました。本センターは、本学がこれまで蓄積してきた財産というべき実践的な教育方法(教育開発センター機能)、国際交流(国際交流センター機能)、産学官連携ネットワーク(ビジネス創造センター機能)を相互に連携・融合させ、拡大的効果を図るために設置した全学的な教育研究支援組織です。本学が掲げる「グローバルな視点から地域経済の発展に貢献できる人材(グローカル人材)の育成」について、司令塔的立場を担います。

令和元年度には教学IR室を設置し、本学における教育に関する研究・開発、教育の成果に関するデータを収集・分析・可視化し、その調査結果を用いて本学の教育活動の更なる発展に資する体制を整えました。

本センターは,以下の4部門及び1室で構成されます。これらの組織が連携し,全学的なセンターとして,北海道における経済活性化の拠点となることを目指します。

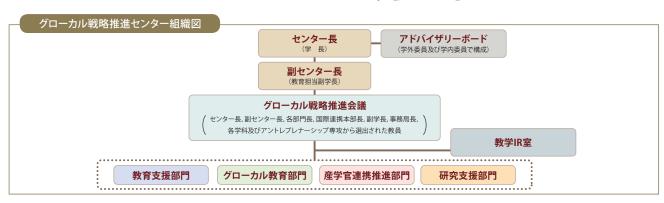
- 1.教育支援部門:全学的な教学マネジメントを担う組織
- 2.グローカル教育部門:グローカル教育の企画・運用を担う組織
- 3.産学官連携推進部門:産学官連携活動の拡大・進化を担う組織
- 4.研究支援部門:全学的な研究マネジメントを担う組織
- 5. 教学IR室: 教育に関するデータの収集・分析・可視化を担う組織

The Center for Glocal Strategy (CGS) was established in April 2015 to realize the university's mission, and began full-scale operations from April 2016. The Center is an all-campus education and research support organization established with the aim of expanding mutual cooperation and integration of the assets accumulated by the university to date, such as practical education methods (Center for Educational Development functions), international exchanges (International Center functions) and industry, academia and government cooperation networks (Center for Business Creation functions). CGS acts as a "control tower" with regard to the "development of human resources (glocal human resources) capable of contributing to the development of the regional economy from a global perspective," cited by the university.

In 2019, we set up the Institutional Research Office of Education in order to collect, analyze, and visualize research and development related education and educational practices. Consequently, we established a system that contributes to the further development of educational activities at the university based on our analysis of the data collected.

The Center is made up of the following four Sections and one Office. These units cooperate with one another to create an all-campus center with the aim of providing a base for the economic activation in Hokkaido.

- 1. Educational Support Section: responsible for the management of education throughout the entire university
- 2. Glocal Education Section: responsible for the planning and operation of glocal education
- Industry, Academia and Government Cooperation Development Section: responsible for the promotion and expansion of industry, academia and government cooperation activities
- 4. Research Support Section: responsible for the management of research throughout the entire university
- Institutional Research Office of Education: responsible for collecting, analyzing, and visualizing data related to education



関連施設紹介



コラボルーム【C/s】 Collab Room【C/s】

産業界,自治体,教育機関,地域住民等の 多様なステークホルダーが集い,学生や教職員 との対話を通じて北海道の地域再生・活性化 に向けた新たなアイデアや問題の解決手段を 見つけ出す場として活用しています。

This room is used as a space where stakeholders from industries, local governments, educational institutions and the region gather to discover new ideas and solutions for regional revitalization in Hokkaido through dialogue with students and faculty members.



グローカルラウンジ I Glocal Lounge I

多様な国際的バックグラウンドを持つ学生が 自由に集い,他言語,異文化理解を深めるため の多様な学びの拠点として活用しています。国 際交流イベントや留学説明会等のイベントも本 スペースで実施しています。

This area is used as a learning center where students from diverse international backgrounds gather to deepen their understanding of different languages and cultures. International exchange events, overseas study orientation sessions and other events are also held in this space.



グローカルラウンジⅡ Glocal Lounge Ⅱ

セミオープンスペースにおいて、少人数による グループワークなどを行うスペースとして活用し ています。また、学生の交流スペースとして広く 活用しています。

This semi-open space is used for small-group work and interaction among students.

教育支援部門

アクティブラーニング、ブレンデッドラーニングの推進・普及やFD活動の実施、キャリア教育などを行い、本学の教育活動を支援しています。アクティブラーニングの実践とその教育効果の可視化・検証によって得られた知見は道内他大学や初等中等教育等にも広く周知します。

Educational Support Division

This division supports the university's educational activities via the promotion and provision of active and blended learning, the implementation of faculty development activities and career education. Expertise based on the practice of active learning and the visualization/validation of related educational effectiveness is extensively shared with other universities and elementary/secondary teaching institutions in Hokkaido.





グローカル教育部門

日本人学生と外国人学生との共学や、海外および国内における体験型の長期学外学修などを通じたグローカル教育を推進しています。平成27年度から導入したグローカルマネジメント副専攻プログラムを発展させた新たな教育課程の構築に向けて、クォーター制による科目を実施する学事暦改革を行うと共に、ギャップイヤープログラムを開始するなど、長期学外学修の体験機会を増やせるよう積極的に取り組んでいます。

グローカル教育部門 グローバル教育専門部会 社会連携実践教育専門部会

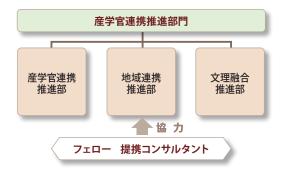
Glocal Education Division

This division promotes glocal education based on co-education for Japanese and overseas students and hands-on long-term off-campus learning programs in Japan and elsewhere. Toward the establishment of a new curriculum for the expansion of glocal management major programs introduced in 2015, the division has changed its academic calendar to offer quarter-based classes and has recently initiated a gap-year program. Proactive approaches are being implemented to increase the number of opportunities for long-term off-campus learning.



産学官連携推進部門

北海道の産業競争力を強化するため、産学官の連携や、 北海道内の理工系大学との大学間連携事業などを推進し ています。また、地域の産業界や他大学、行政機関とより 緊密な連携活動を行うための人的ネットワークとしてビジネ ス開発プラットフォームの形成に取り組んでおり、これらを 活かした地域経済の活性化や地域人材の育成を進めてい ます。



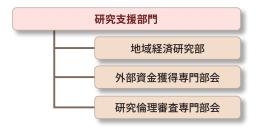
Industry, Academia and Government **Cooperation Development Division**

This division is tasked with helping to strengthen Hokkaido's industrial competitiveness via the promotion of industry, academia and government cooperation and collaboration with other universities of science and technology in Hokkaido. It also promotes the establishment of a business development platform serving as an interpersonal network for closer collaboration with local industry, other universities and administrative bodies. The platform is also leveraged to help revitalize the regional economy and cultivate human resources



研究支援部門

地域志向型研究プロジェクトなど学内公募型研究の推 進や,科学研究費助成事業などの外部資金獲得に関する 支援を推進しています。また、従来行ってきた地域研究を 深化させ,各種研究会,講演会などの開催をバックアップし ています。本部門には全教員が所属しており、教員が一体 となり本学の研究力向上を図るとともに,全学的な研究支 援を進めています。



Research Support Division

The division supports the promotion of regionoriented study projects and other private-tender research programs within the university, as well as the securement of external funding from scientific study subsidiary programs and other initiatives. It also works to deepen ongoing regional research and supports the organization of various study groups and lectures. All university faculty members play a role in this division to enhance its research capabilities and support related activities on a university-wide scale.



教学IR室

教学IR室 (IR: Institutional Research) は、本学にお ける教育に関する研究・開発,教育の成果に関するデータ を, グローカル戦略推進センター教育支援部門と連携しな がら収集・分析・可視化し、その調査結果を用いて本学の 教育活動の更なる発展に資することを目的とし、令和2年2 月にグローカル戦略推進センターに設置されました。

教学IR室では以下のような取組を行っています。

- ・教育に関する評価の方針・項目・方法等の企画・検討
- ・教育に関する評価体制の企画・検討
- ・教育データの収集・管理・分析・可視化

Institutional Research Office of Education

The Institutional Research Office of Education was set up within the CGS in 2019. Its purposes are to collect, analyze, and visualize the empirical data of educational practices, research and development related education, and to contribute to the pedagogic development of the university based on the result of analysis.

The office is responsible for the following activities in collaboration with Educational Support Division:

- · Planning and Consideration of policy, item, and methods of educational evaluation
- · Planning and Consideration of system of educational evaluation
- · Collection, management, analysis, and visualization of educational data



言語センター Center for Language Studies

言語センターは、平成3年10月学内改組に伴い、実用と 文化の調和の上に立つ外国語教育の研究と実践を目的と して設立されました。従来外国語教育を担当していた教員 を新たな教育研究組織として新発足させると同時に, 道内 有数の歴史を持つ視聴覚教育施設を, 高度情報化時代に も相応しく,マルチメディア機能を有した多目的に利用可能 な施設として発展させたものです。国際化時代に的確に対 応しうる言語教育の実現をとおして, 真の国際的教養人の 育成に貢献することを目指しています。

The Center for Language Studies (CLS) was founded as a ministry-certified institute in October 1991, for the purpose of pragmatic, cross-cultural study and education of foreign languages. The CLS has reorganized staff originally involved in teaching foreign languages in our university, and progressively developed Blended Learning Rooms that had a long tradition into new multi-purposed facilities with multimedia functions. Thus we endeavour to contribute to building the character of students to have global views through language education which has a positive effect upon the globalization of society.

組 **織** Organization

個別言語部門

(英語系, ドイツ語系, フランス語系, 中国語系, スペイン語系, ロシア語系, 韓国語系, 日本語系) Department of Modern Languages (Division: English, German, French, Chinese, Spanish, Russian, Korean, Japanese)

応用言語部門

Department of Applied Linguistics

比較言語文化部門

Department for Comparative Studies of Language and Culture





情報総合センター

Information And Communications Technology Center

情報総合センターは、平成30年10月1日に、大学全体の 情報基盤及び情報システムの運用を統括して管理し、更に 情報セキュリティ対策を強化するために、情報処理センター を拡充改組した組織です。

本センターは, 学内共同利用施設として, 学内のおける研 究,教育に資する計算機環境を提供しています。現在のシス テムは、平成28年3月に更新されたシステムです。

センター内の設備としては、パソコン (第1実習室102台、 第2実習室15台, 第3実習室41台, 第4実習室31台, 教員利 用室5台) 等が用意されています。

なお, 本学には学内ネットワークが敷設されており, 教員研

究室をはじめ、ゼミ室、 附属図書館その他学内のほぼ全域 から、センターのサーバーマシンを利用することが出来ます。

The Information and Communications Technology Center developed from the former Information Processing Center on October 1, 2018, in order to control and manage the information infrastructure and information systems operations of the entire university, as well as to strengthen information security within the university.

The center provides computer facilities for education and for the research activities of both students and staff. The present system was updated in March 2016.

The Center has about 200 personal computers; 102 units at Computer Laboratory No. 1, 15 units at Computer Laboratory No. 2, 41 units at Computer Laboratory No. 3, 31 units at Computer Laboratory No. 4, 5 units at Researchers' Computer Laboratory.

Furthermore, the domestic Local Area Network runs through teachers' offices, seminar rooms, lecture rooms, Library, clerk offices, etc. Researchers, students and clerks use server machines in the Center from these rooms and facilities through the LAN.





アドミッションセンター Admission Center

アドミッションセンターは, 商学部の入学者選抜の実施, 入学者選抜方法についての調査研究・分析及び入試広報 活動等を行うことにより, 本学における入学者選抜の円滑 な実施に資することを目的として、平成28年7月に設置さ れました。

The Admission Center was established in July 2016 to facilitate the smooth implementation of selecting students for admission to the Faculty of Commerce, and conducting research and analysis of screening methods and admission exam PR



国際連携本部 Headquarters for International Relations

国際連携本部は,平成27年4月の学内改組に伴い,平成 28年度に研究及び教育の国際交流推進を目的とし、本学 の国際交流を企画・立案・実施するため設置されました。

主に、海外における大学等との渉外・協定に関すること、 国内の諸機関との国際交流に係る渉外・協定に関するこ と, 国際シンポジウムの開催, 海外の研究者の受入れ, 学 術国際交流に関する業務を行っており、グローカル戦略推 進センターグローカル教育部門と連携し、全学的な国際交 流の推進を目指しています。

The Headquarters for International Relations was established during the internal reorganization of the university in April 2015, in order to plan, propose and implement the university's international exchanges with the aim of promoting international relations in research and education, as of the 2016 educational year.

The Headquarters mainly aims to carry out promotion with regards to liaisons and agreements with overseas universities and institutions as well as domestic institutions. Also, it engages in international academic exchanges by organizing international symposiums as well as facilitating to host overseas researchers. Collaborating with the Glocal Education Division, the Center for Glocal Strategy, the Headquarters for International Relations continues to encourage internationalization throughout the university.





商学部 Faculty of Commerce

学生数 Enrollment

(令和2年5月1日現在) (As of May 1, 2020)

学科・課程		収容定員 Authorized	入学定員 Authorized		現 Actual Enrolln				
Departments		Accommodation Enrollment	Annual Enrollment	1年次 Freshman Year	2年次 Sophomore Year	3年次 Junior Year	4年次 Senior Year	1~4年次合計 Total	
経済学科	昼間コース Day School	548	137		152 (30)	136 (44)	180 (43)	468 (117)	
Economics	夜間主コース Night School	48	12		15 (0)	16 (3)	18 (6)	49 (9)	
商 学 科	昼間コース Day School 592 148		153 (78)	160 (80)	164 (81)	477 (239)			
Commerce	夜間主コース Night School	40	10		12 (9)	11 (6)	9 (6)	32 (21)	
企 業 法 学 科		424	106		107 (55)	109 (40)	133 (61)	349 (156)	
Law	夜間主コース Night School	48	12		16 (7)	12 (9)	16 (8)	44 (24)	
社会情報学科	昼間コース Day School	296	74		76 (25)	77 (33)	84 (39)	237 (97)	
Information and Management Science	夜間主コース Night School	64	16		19 (11)	17 (6)	19 (11)	55 (28)	
学科等無所属	昼間コース Day School			472 (201)					
Unattached	夜間主コース Night School			59 (32)				59 (32)	
小計	昼間コース Day School	1,860	465	472 (201)	488 (188)	482 (197)	561 (224)	2,003 (810)	
Subtotal	夜間主コース Night School	200	50	59 (32)	62 (27)	56 (24)	62 (31)	239 (114)	
合 Total	計	2,060	515	531 (233)	550 (215)	538 (221)	623 (255)	2,242 (924)	

()内は女子内数

) shows the number of female students

入学料·授業料

Entrance Fee and Tuition Fee

	昼間コース Day School	夜間主コース Night School
入学料 Entrance Fee	282,000円	141,000円
授業料 Tuition Fee	半期分 267,900円 (年額 535,800円)	半期分 133,950円 (年額 267,900円)



入学志願者数及び入学者数

Applicants and Entrants

区 分 Classi- fication	入学定員 Authorized	入学志願者数 Applicants			入	学 者 Entrants	入学倍率 Ratio of applicants	
年 度 Fiscal Year	Annual Enrollment	男 Male	女 Female	合 計 Total	男 Male	女 Female	合 計 Total	to the authorized enrollment
平成30年度	昼間コース Day School 465	786	508	1,294	276	197	473	2.7
2018	夜間主コース Night School 50	93	65	158	31	26	57	2.8
令和元年度	昼間コース Day School 465	907	520	1,427	291	184	475	3.0
2019	夜間主コース Night School 50	114	86	200	30	25	55	3.6
令和2年度	昼間コース Day School 465	689	521	1,210	270	201	471	2.6
2020	夜間主コース Night School 50	83	60	143	26	31	57	2.5

入学者の出身地

Regional Distribution of Students' Hometown

区 分 Classi- fication	入学定員 Authorized				出	From	身 High Scho	ools in	地			
年 度 Fiscal Year	Annual Enrollment	北海道 Hokkaido	東 北 Tohoku	関 東 Kanto	中 部 Chubu	近 畿 Kinki	中 国 Chugoku	Shikoku	九 州 Kyusyu	沖 縄 Okinawa	高卒認定	国 外 From abroad
平成30年度	昼間コース Day School 465	446	6	2	5	4	1	1	1	0	0	7
2018	夜間主コース Night School 50	51	4	0	1	0	0	0	0	0	1	0
令和元年度	昼間コース Day School 465	460	6	3	1	0	0	1	0	0	1	3
2019	夜間主コース Night School 50	48	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0
令和2年度	昼間コース Day School 465	437	13	5	4	2	2	1	0	1	2	4
2020	夜間主コース Night School 50	50	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0

※1:高等学校卒業程度認定試験 ※1:Certificate for Students Achieving the Proficiency level of Upper Secondary School Graduates

令和元年度奨学生数

Scholarship Students (Academic Year 2019)

独立行政法人 日本学生支援機構 Japan Student Services Organization	学 生 総 数 Total Enrollment	学生総数に対する比率 Ratio of grantees to the total enrollment
824	2,262	36.4%



大学院商学研究科 Graduate School of Commerce

学生数

Enrollment

(令和2年5月1日現在) (As of May 1, 2020)

課程事		攻	収容定員 Authorized	入学定員 Authorized	現 Actual Enrollment				
Course	Course Co		Accommodation Enrollment	Annual Enrollment	l年次 1st year	2年次 2nd year	3年次 3rd year	合 計 Total	
	現代商学専攻	前期課程 First-term Program	20	10	13 (6)	7 (3)		20 (9)	
商学研究科 Commerce	Major in Modern Commerce	後期課程 Second-term Program	9	3	3 (1)	2 (0)	3 (1)	8 (2)	
アントレプレナーシップ専攻 Major in Entrepreneurship			70	35	36 (10)	37 (5)		73 (15)	
合 計 Total			99	48	52 (17)	46 (8)	3 (1)	101 (26)	

()内は女子内数 () shows the number of female students

入学志願者数及び入学者数

Applicants and Entrants

区分 Classification 年度 Fisical Year	入学 Authorized Ann	定員 nual Enrollment		入学志願者数 Applicants	入学者数 Entrants
	現代商学専攻	前期課程 First-term Program	10	18	7
平成 30 年度 2018	Major in Modern Commerce	後期課程 Second-term Program	3	4	3
	アントレプレナーシップ専攻	Major in Entrepreneurship	41	35	
	現代商学専攻	前期課程 First-term Program	10	30	8
令和元年度 2019	Major in Modern Commerce	後期課程 Second-term Program	3	1	1
	アントレプレナーシップ専攻	Major in Entrepreneurship	35	56	36
	現代商学専攻	前期課程 First-term Program	10	50	13
令和2年度 2020	Major in Modern Commerce	後期課程 Second-term Program	3	2	2
	アントレプレナーシップ専攻	Major in Entrepreneurship	35	37	32

令和元年度奨学生数

Scholarship Students (Academic Year 2019)

独立行政法人 日本学生支援機構 Japan Student Services Organization	学生総数 Total Enrollment	学生総数に対する比率 Ratio of grantees to the total enrollment
2	102	1.96%



卒業後の状況 Employment Situation of Graduates

卒業後の状況 (令和元年度卒業)

Employment Situation of Graduates (Academic Year 2019)

学部·大学院 Faculty and Graduate School	区分 Classification	Agriculture, Forestry, Fishery, Mining, Quarrying and Gravel	是設業 建設業	製造業 Wanufacturing	電気・ガス・熱供給・水道業	Information and Communication	Transportation and Postal Service	Wholesale and Retail Trade	金融業·保険業	Real Estate, Commodity Lease and Rental Industry	Academic Research and Technical Service	Lodging and Food Service	Living Service and Amusement	教 育·学習支援業 数 育·学習支援業	Medicine and Welfare E 療·福 祉	Multiplex Service	Services	空 務 Public Administration	Employment decided	是学者数	Others	下業者数 下otal numbers of Graduates
	経済学科 Economics		3	12 (2)	1	25 (4)	4 (1)	13 (4)	16 (4)	4 (1)	8 (3)	4				2	8 (2)	12 (4)	112 (25)	2	13 (2)	127 (27)
	商学科 Commerce		10 (2)	17 (7)	1 (1)	19 (7)	5 (3)	19 (14)	34 (25)	5 (5)	15 (8)	4 (3)	2 (1)	6 (2)	1 (1)	3 (2)	7 (5)	30 (19)	178 (105)	1	8 (5)	187 (110)
商	企業法学科 Law		6 (1)	4 (4)		16 (5)	2 (2)	7 (5)	16 (4)	3 (3)	7 (3)			4 (3)		4 (1)	5 (1)	34 (12)	108 (44)	3	6 (2)	117 (46)
学部	社会情報学科 Information and Management Science		4 (2)	10 (2)		31 (12)	1	13 (4)	16 (7)	3 (2)	2	2 (2)		3 (2)		1 (1)	4 (1)	5	95 (35)	1 (1)	4 (1)	100 (37)
Faculty of Commerce	合計 Total		23 (5)	43 (15)	2 (1)	91 (28)	12 (6)	52 (27)	82 (40)	15 (11)	32 (14)	10 (5)	2 (1)	13 (7)	1 (1)	10 (4)	24 (9)	81 (35)	493 (209)	7 (1)	31 (10)	531 (220)
ommerce	道内 Hokkaido		12 (2)	11 (4)	2 (1)	34 (10)	6 (2)	28 (13)	27 (8)	7 (5)	16 (10)	5 (3)	2 (1)	7 (6)	1 (1)	9 (3)	8 (5)	78 (34)	253 (108)			
	道外 Outside Hokkaido		11 (3)	32 (11)		57 (18)	6 (4)	24 (14)	55 (32)	8 (6)	16 (4)	5 (2)		6 (1)		1 (1)	16 (4)	3 (1)	240 (101)			
	合計 Total		23 (5)	43 (15)	2 (1)	91 (28)	12 (6)	52 (27)	82 (40)	15 (11)	32 (14)	10 (5)	2 (1)	13 (7)	1 (1)	10 (4)	24 (9)	81 (35)	493 (209)			

	現代商学専攻 博士前期課程 Major in Modern Commerce(First-Term)		1		1	1 (1)	2 (1)								1	6 (2)	2	8 (2)
商学	現代商学専攻博士後期課程 Major in Modern Commerce(Second-Term)																1 (1)	1 (1)
商学研究科 G	アントレプレナー シップ専攻 Major in Entrepreneurship	1	6 (1)	1	1	3 (1)	5	2 (1)	1	4 (1)		1	3	1	2 (1)	31 (5)		31 (5)
Graduate Sch	合計 Total	1	7 (1)	1	2	4 (2)	7 (1)	2 (1)	1	4 (1)		1	3	1	3	37 (7)	3	40 (8)
School of Commerce	道内 Hokkaido	1	1	1		3 (1)	5 (1)	1		4 (1)		1	3		3 (1)	23 (4)		
1erce	道外 Outside Hokkaido		6 (1)		2	1 (1)	2	1 (1)	1					1		14 (3)		
	合計 Total	1	7 (1)	1	2	4 (2)	7 (1)	2 (1)	1	4 (1)		1	3	1	3 (1)	37 (7)		



特色ある取り組み Unique Projects for University Reforms

グローカル人材の育成

本学は、地域経済が求める「グローバルな視野で地域の問題を解決できるグローカル人材」を育成するため、地域の産業界や公的機関、 国内外他大学などと連携した新しい教育環境を生み出し、提供しています。

平成27 (2015) 年度には、4学科の主専攻に加えて学ぶ「グローカルマネジメント副専攻プログラム」を開設し、令和3 (2021) 年度からはこの副専攻プログラムを発展させた「グローカルコース (主専攻)」を開始します。

両プログラムとも、商社や海外展開を予定している地域の企業等で活躍できることを想定しています。そのために地球規模の視野で学び、異文化理解に優れ、卓越した言語コミュニケーション能力を活用して、複雑化する地域社会の諸問題を解決するための資質を有する人材を育成することを目的とします。

特に「グローカルコース(主専攻)」については、入学後に留学が必修となっていますが、グローカルコースに所属予定の学生のうち、特に意欲のある学生については、入学自体を一年間猶予することができます。

猶予期間はギャップイヤーの期間として新たに導入した「ギャップイヤープログラム」に参加します。この期間中には、外国の大学等に留学しグローバルな視野及び自主的な学修態度を養うことを目指しています。

小樽商科大学のアクティブラーニング 〜新たな教育方法の普及と展開〜

本学は、学生自身が強い動機と主体的な態度をもって学びに向き合うアクティブラーニング(以下、「AL」)を実現するための教育改革を推進しています。建学以来培ってきた実学教育の精神を基礎としつの、多様な現代社会におけるより高度な問題解決と価値創出を担いうるグローカル人材の育成を目的として、PBL(課題解決学修)の全学導入、先端的ICTを活用した反転型学修、オンラインによる学修と対面型の学修を組み合わせた語学教育方法(ブレンデッドラーニング)の開発等、これまで培ったAL教育方法をより深化させていきます。

また、このALの効果と効率を最大化させるために、講義室などの学内環境整備を着実に進めながら学部・大学院教育の質の向上とグローカル人材育成を図るとともに、他大学等と連携してその成果の普及に努めます。

ビジネス開発プラットフォームの構築 (社会人高度経営人材育成事業)

本学は、創立以来、産業界、公的機関、大学等に様々な人材を送り出すとともに、強力なネットワークを築いてきました。また、平成16年にはビジネススクールを設置し、北海道経済の活性化に向けたビジネス教育に力を入れています。

現在は、本学が持つビジネス教育のノウハウとネットワーク基盤となる連携体制「ビジネス開発プラットフォーム」を築き上げ、産学官連携による地域課題研究やビジネス研究を推し進め、イノベーション創出のための経営人材育成プログラムを開発し、ビジネスに活かすことで、北海道の地域再生・活性化を図っています。



Glocal Human Resource Development

To develop individuals capable of resolving regional issues with a global perspective who are needed by the regional economy, the Otaru University of Commerce is creating and providing a new educational environment in collaboration with local industries, public agencies and domestic and overseas universities.

The Glocal Management Minor Program, which complements four major disciplines, was established in academic year 2015. This has been developed into the Glocal course Major Program, which will begin in academic year 2021.

Both programs are expected to be useful for trading companies and local companies planning to expand overseas. We aim to develop human resources who can study from a global perspective, understand different cultures, and utilize their outstanding linguistic communication skills to have the qualities to solve the complex problems of local communities.

The Glocal course Major Program in particular requires students to study abroad after enrollment, but for students who are particularly motivated enrollment can be delayed for one year, allowing them to gain real world experiences before embarking on their studies. With this in mind, we have introduced a 'gap year' program, which enables students to study abroad at one of our partner universities to foster a global outlook and a voluntary learning attitude.

Active Learning at the Otaru University of Commerce Promotion and Development of New Educational Approaches

The Otaru University of Commerce promotes educational reform to facilitate active learning (hereinafter referred to as "AL") that requires students to have the strong motivation necessary to actively involve themselves in the learning process. Based on the school's philosophy of practical education followed since its foundation, the university is further advancing the AL approaches it has developed through the employment of project-based learning (PBL) in all departments, flipped learning using cutting-edge ICT and a language education method that blends online learning and face-to-face learning (blended learning) to cultivate glocal human resources able to facilitate the resolution of difficult issues and value creation in today's diverse society.

To maximize the benefits and efficiency of AL, the university strives to not only further improve the learning environment, including lecture rooms, but also enhance undergraduate and graduate education quality and develop glocal human resources, disseminating the results of these efforts in collaboration with other universities and institutions.

Construction of a Business Development Platform (Highly Skilled Managerial Talent Development Project)

The Otaru University of Commerce has sent various talented individuals to industries, public agencies, universities and other institutions, and established a strong network since its foundation. In 2004, a business school was established to step up business education to revitalize the Hokkaido economy.

The Business Development Platform, a collaborative system serving as the basis of the university's business education know-how and network, has been established to advance research on regional issues and business through industry-academia-government collaboration and develop managerial talent development programs for innovation creation, thereby promoting business and regional revitalization in Hokkaido.





28. ICHEC ブリュッセルマネジメントスクール ICHEC Brussels Management School

協定締結校 Associated Schools

大 学 名	国名/地域	締結年月日
Names of Universities	Country/Region	Dates of Conclusion
1. オタゴ大学	ニュージーランド	平成4年11月21日
University of Otago	New Zealand	Nov. 21, 1992
2. 忠南大学校	大韓民国	平成5年1 2 月3日
Chungnam National University	Korea	Dec. 3, 1993
3. ウーロンゴン大学	オーストラリア	平成6年2月16日
University of Wollongong	Australia	Feb. 16, 1994
4. ウェスタンミシガン大学	アメリカ合衆国	平成6年3月1日
Western Michigan University	U.S.A.	Mar. 1, 1994
5. 東北財経大学	中華人民共和国	平成7年5月18日
Dongbei University of Finance and Economics	China	May 18, 1995
6. バイロイト大学	ドイツ連邦共和国	平成10年5月26日
University of Bayreuth	Germany	May 26, 1998
7. エクス=マルセイユ大学	フランス共和国	平成11年4月1日
Aix-Marseille University	France	Apr. 1, 1999
8. 蘭州大学	中華人民共和国	平成11年10月5日
Lanzhou University	China	Oct. 5, 1999
9. ロシア極東連邦総合大学	ロシア連邦	平成11年12月15日
Far Eastern Federal University	Russia	Dec. 15, 1999
10. ウィーン経済大学	オーストリア共和国	平成12年1月17日
Vienna University of Economics and Business	Austria	Jan. 17, 2000
ll. オグレソープ大学	アメリカ合衆国	平成13年1月1日
Oglethorpe University	U.S.A.	Jan. 1, 2001
12. サウスダコタ大学	アメリカ合衆国	平成13年2月14日
University of South Dakota	U.S.A.	Feb. 14, 2001
13. シェフィールド大学	連合王国	平成13年3月2日
The University of Sheffield	United Kingdom	Mar. 2, 2001
14. ビフロスト大学	アイスランド共和国	平成14年3月11日
Bifrost University	Iceland	Mar. 11, 2002
15. ブルゴス大学	スペイン	平成14年3月12日
University of Burgos	Spain	Mar. 12, 2002
16. ベルリン経済・法律大学	ドイツ連邦共和国	平成14年3月20日
Berlin School of Economics and Law	Germany	Mar. 20, 2002
17. 成均館大学校	大韓民国	平成20年2月4日
Sungkyunkwan University	Korea	Feb. 4, 2008
18. ベトナム国家大学ホーチミン市国際大学 Vietnam National University Ho Chi Minh City International University	ベトナム社会主義共和国 Vietnam	平成20年4月25日 Apr. 25, 2008
19. サハリン国立大学	ロシア連邦	平成 25年7月4 日
Sakhalin State University	Russia	Jul. 4,2013
20. オウル応用科学大学	フィンランド共和国	平成26年3月14日
Oulu University of Applied Sciences	Finland	Apr. 14, 2014
21. マラヤ大学	マレーシア	平成27年3月30日
University of Malaya	Malaysia	Mar. 30, 2015
22. レスリー大学	アメリカ合衆国	平成28年1月28日
Lesley University	U.S.A	Jan. 28, 2016
23. カルガリー大学	カナダ	平成30年3月26日
University of Calgary	Canada	Mar. 26, 2018
24. ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ University of Hawaii, Kapiolani Community College	アメリカ合衆国 U.S.A.	平成30年4月11日 Apr. 11, 2018
25. トランシルバニア大学ブラショフ校	ルーマニア	平成30年5月23日
Transilvania University of Brasov	Romania	May 23, 2018
26. 香港バプテスト大学	香港特別行政区	平成30年8月10日
Hong Kong Baptist University	Hong Kong SAR	Aug. 10, 2018
27. 台北商業大学	台湾	令和元年12月19日
National Taipei University of Business	Taiwan	Dec. 19, 2019
	0.0.14	A 100 K 0 H 0 C H





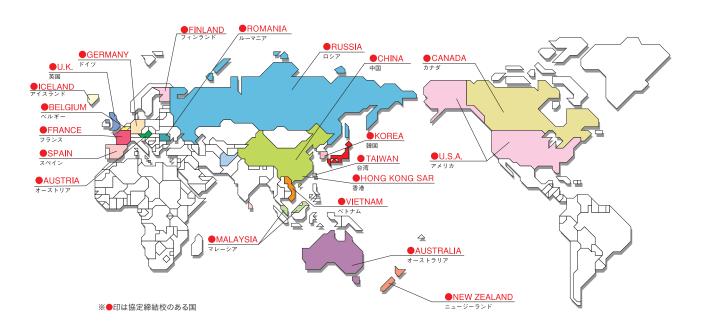
ベルギー Belgium

令和2年3月26日 Mar. 26, 2020



留学実績

The Studying Abroad Results



学生派遣数 (2019年度)

Number of Study-Abroad Students (Academic Year 2019)

学生交換留学 Exchange Students			
アメリカ合衆国 U.S.A	6名	オーストリア Austria	1名
ベトナム 社会主義共和国	5名	ロシア連邦 Russia	1名
Vietnam マレーシア	4名	フィンランド Finland	1名
Malaysia			29名
ドイツ連邦 Germany	4名	total	
アイスランド Iceland	3名		
フランス共和国 France	2名		
オーストラリア Australia	2名		

短期語学研修 (夏季·春季派遣) Short-Term Study-Abroad Students

夏季	実施なし		
春季	新型コロナ	ウイルス	ζ
	感染症の景	/響によ	り中山
		合計 total	0名
	プイヤープロ ar Program	グラム	
アメリ U.S.A	カ合衆国		l名

合計

total

1名

海外研修プログラム(事情科目) Short-Term Study-Abroad Program Participants

オーストラリア Australia		16名
カナダ		15名
Canada マレーシア		15名
Malaysia ニュージーラント	*	14名
New Zealand ルーマニア		5名
Romania	∧ ∃I.	
	合計 total	65名

外国人留学生数 (2020年5月1日現在)

Number of Foreign Students (As of May 1, 2020)

1. 国・地域別

Students classified by Countries and regions

中華人民共和国 Chinese	38名	スペイン	1名
大韓民国 Korean	11名	(8ヵ国)	
台湾 Taiwanese	2名		合計 58名 total
ドイツ連邦 German	2名		
フィンランド Finland	2名		
ロシア連邦 Russian	1名		
マレーシア Malaysian	1名		

2. 学生身分別

Students classified by Courses

学部学生	23名
Undergraduate Students	
現代商学専攻	16名
Major in Modern Commerc	ce
アントレプレナーシップ専	攻 5名
Major in Entrepreneurship	
研究生	7名
Research Students	
特別聴講学生	7名
(交換留学生)	
Exchange Students	
科目等履修生	0名
Credited Auditors	
合	計 58名
Tot	tal

3. 留学生区分

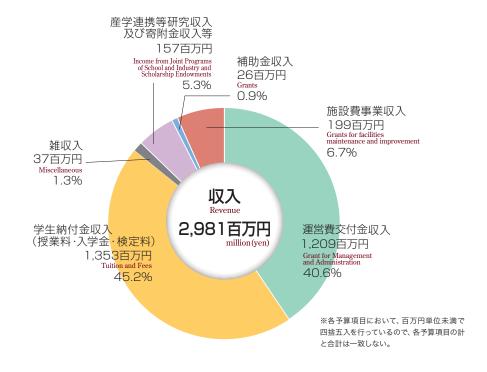
Students classified by Expenses

国費留学生 Students sponsored by Japanese government	l名
外国政府派遣学生 Students Sponsored by foreign government	l名
私費留学生 Students at Private Expense	56名
合計 Total	58名

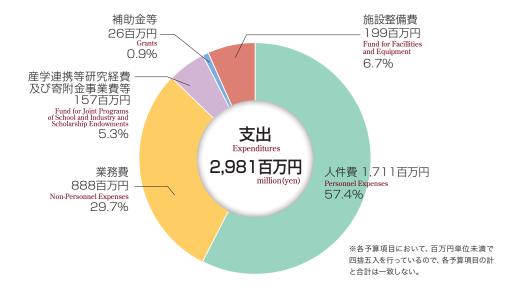


令和2年度 収入·支出予算 Revenue and Expenditure for Fiscal 2020

収入



支 出









科学研究費助成事業等 Grants-in-Aid for Scientific Research and Other Grants from outside the University

科学研究費助成事業

Grants-in-Aid for Scientific Research

年 度 Fiscal	平成29年度 Fiscal Year 2017	平成30年度 Fiscal Year 2018	令和元年度 Fiscal Year 2019
採 択 件 数 Number of Adoption	37件	46件	49件
交 付 金 額 Amount of Money	69,940千円	67,480千円	67,470千円

民間等との共同研究

Cooperative Research

年 度 Fiscal	平成29年度 Fiscal Year 2017	平成30年度 Fiscal Year 2018	令和元年度 Fiscal Year 2019
件 数 Number of Recipients	5件	4件	6件
金 額 Amount of Money	6,000千円	2,900千円	7,352千円

受託研究費

Grants for Commissioned Research

年 度 Fiscal	平成29年度 Fiscal Year 2017	平成30年度 Fiscal Year 2018	令和元年度 Fiscal Year 2019
件 数 Number of Recipients	4件	4件	2件
金 Amount of Money	8,030千円	8,300千円	7,096千円

受託事業費

Grants for Commissioned Projects

年 度 Fiscal	平成29年度 Fiscal Year 2017	平成30年度 Fiscal Year 2018	令和元年度 Fiscal Year 2019
件 数 Number of Recipients	2件	6件	5件
金 Amount of Money	86,180千円	99,319千円	88,573千円

寄附金

Endowments

年 度 Fiscal	平成29年度 Fiscal Year 2017	平成30年度 Fiscal Year 2018	令和元年度 Fiscal Year 2019
件 数 Number of Recipients	174件	155件	285件
金 Amount of Money	72,634千円	75,783千円	118,678千円





土地建物

University Buildings and Land

University Buildings and Land				
区 分 Classification	土地 Land Area	建物 Building 建面積 延面積		備 考 Note
	2	Building Area	Total Floor Area	
事務棟 Administration Buildings	m ²	1,068	2,059	
教員研究棟 Professors' Offices		1,101	3,647	
講義室棟 Lecture Rooms		5,086	16,185	
保健管理センター Health Services Center		104	211	
情報総合センター Information and Communications Technology Center		307	581	
附属図書館 University Library		1,242	4,176	
大学会館 University Hall	191 679	1,246	2,256	
体 育 館 Physical Training Facilities	>121,672	2,974	3,326	
課外活動施設 Extra Curricular Activities Facilities		2,081	2,968	合宿研修施設・サークル共用 施設・弓道場・ボート艇庫等
学 生 寮 Dormitory		620	2,479	Study Camp, Student Activity Building, Kyudo Gymnasium, Boat
国際交流会館 International House		490	1,145	House
その他,附属施設 Other Facilities		797	996	
職員宿舎	6,064	934	2,690	
Faculty and Staff Residences	0,004	334	2,000	
屋外運動場 Athletic Grounds	57,722	221	221	
合 計 Total	185,458	18,271	42,940	



(令和2年4月1日現在) (As of Apr. 1, 2020)

所在地

Addresses

Addresses			
名 称 Category	郵便番号 Zip Codes	所在地 Addresses	電話番号 Telephones
小 樽 商 科 大 学 Otaru University of Commerce	047-8501	小樽市緑3丁目5番21号 3-5-21 Midori , Otaru , Hokkaido , 047-8501 Japan	合 代表 (0134) 27-5206
事 務 局 Administration Bureau			
商 学 部 Faculty of Commerce			
附属図書館 University Library	(047-8502)		
言語 センター Center for Language Studies			
保健管理センター Health Services Center			
情報総合センター Information and Communications Technology Center			
グローカル戦略推進センター Center for Glocal Strategy			
札 幌 サ テ ラ イ ト Sapporo Satellite	060-0005	札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル3階 Sapporo 55Building 7 Kita 5 Nishi 5 Chuo-ku,Sapporo,Hokkaido,060-0005 Japan	☎ (011) 218-6377
ボ ー ト 艇 庫 Boat House	061-3362	石狩市生振367番 367 Oyafuru , Ishikari , Hokkaido , 061-3362 Japan	☎ (0133) 64−6457



建物配置図 Campus Map



● 1 号館 (研究棟)【昭和41年3月, 平成5年5月増】 Professors' Research Bldg



3号館(研究棟・講義棟)【昭和42年9月,昭和48年2月,平成3年10月増】 Professors' Research Bldg/Lecture Bldg



●事務棟 【昭和43年3月, 平成27年12月増】 Administration Bldg



❷2号館(言語センター,情報総合センター, グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門) 【平成13年3月】

Center for Language Studies/Information and Communications Technology Center/Industry, Academia and Government Cooperation Development Division, Center for Glocal Strategy



●情報総合センター【昭和63年3月】

Information and Communications Technology Center



6 附属図書館 【昭和42年9月, 昭和54年3月, 平成6年12月增】 University Library



❸大学会館【平成6年2月】 University Hall



テンスコート Tennis Courts

❶第1体育館 【平成18年3月】 1st Gymnasium



32



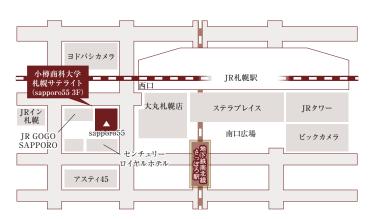
札幌サテライト Sapporo Satellite

本学は、平成9年から研究教育拠点として小樽本校の他に北海道経済・企業活動の中心地である札幌にサテライトを設置し、専門職大学院(ビジネススクール)等大学院教育の場、学内外の教員・研究者との学会・研究会等の場、地域の皆さんとの懇談会、公開セミナー、打合せの場として活用されています。

Our university, whose base is located in Otaru, set up a satellite facility in Sapporo, which is the economic focus and the central place of the economy in Hokkaido. This facility is used not only to provide an educational space for the graduate students and other students but it offers a meeting place for researchers and teachers in and outside the university, a place for meetings and open seminars for the community members.

名 称	所 在 地	面 積
Name	Address	Floor Area
小樽商科大学 札幌サテライト OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE SAPPORO SATELLITE	〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル3階 TEL (011) 218-6377 FAX (011) 218-6378 Sapporo55 Building 3F 7 Kita 5 Nishi 5 Chuo-ku,Sapporo,Hokkaido, 060-0005 Japan	大講義室(113㎡) Large lecture room中講義室(84㎡) Medium-size lecture room小講義室(61㎡) Small lecture room会議室(24㎡) Conference roomミーティング室(12㎡) Meeting room自習コーナー(57㎡) Self-study room

SAPPORO

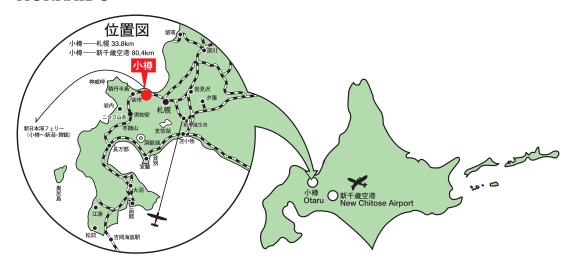






位置図等 Access Map

HOKKAIDO



東京 (羽田空港) から新千歳空港まで 飛行機で約1時間30分

新千歳空港駅から小樽駅まで JR (快速利用) で約1時間15分

小樽駅前(③) J Rバス2番乗場より 中央バス「19小樽商大線」乗車(10分) 終点の「小樽商大前」下車 Tokyo (Haneda Airport) — New Chitose Airport Airplane /90minutes

New Chitose Airport — Otaru Station JR rapid service / 75minutes

Otaru Station — Otaru University of Commerce Otaru Chuo Bus / 10minutes

OTARU



- ① Otaru University of Commerce
- 2 Municipal Office
- ③ Otaru JR Station
- 4 Otaru Police Station
- (5) Otaru Canal
- 6 Otaru Port
- 7 Otaru Inaho Elementary School
- ® Tomioka Catholic Church
- Otaru Park
- 1 To Sapporo
- 1 To Yoichi



編集発行

小樽商科大学総務課 (TEL: 0134-27-5207) 〒047-8501 北海道小樽市緑3丁目5番21号 ホームページURL https://www.otaru-uc.ac.jp/